

兼山小だより

学校の教育目標「豊かな心と確かな学びを身につけたたくましい子」



かねやま

可児市立兼山小学校 学校だより
令和5年12月26日 第10号
〒505-0130 兼山1444-1
TEL 0574-59-2211



校長 渡邊 正博

「日に美しく 日にたくましく」を合言葉に、「好き」を増やしてきた学校生活も、本日(12月26日)をもちまして冬休みに入ります。本校教育活動へのご理解ご協力ありがとうございました。

明日から子どもたちは冬休みです。年末(12月27日～31日)・年始(1月1日～3日)・授業開始まで(4日～8日)の期間は、それぞれに家庭・地域・日本の伝統行事など楽しみなことがあります。特に、我が家や地域の習慣などを味わう時間は貴重です。それは家族を思いやり、ふるさとを愛する心を育てていると思うからです。「まめでくりくりかきとるように」私の地元の風習(年取り)です。我が家では続きがあります。「子どもはお菓子がすきだから、柿じゃなくて菓子でもいいよ。」みなさんのご家庭はどんなですか?)

さて、「和顔愛語」。この写真には本校職員玄関で出会うことができます。温かな顔つきと、穏やかで思いやりのある話し振りのことだと解釈しています。教師として、親として、人として心がけたい所作だと思っています。でも、「そうできない場面もありましたね～」と心の中のもう一人の自分が囁くこともありました。この言葉をいつも読んで出勤・退勤しているわけではありませんが、ふとした時に目に入り、自分を見つめ直すきっかけになっています。昨年まで勤務した(6年生の皆さんが進学する)共和中学校では、大きなメタセコイアの木がそれでした。忙しい毎日ですが、ちょっと立ち止まり、自己対話するきっかけを与えてくれる“もの、こと、ひと”があるって、ありがたいことだと思っています。

授業最終日を間近にした昼休み、職員室に子どもたちの声が響いていました。耳を澄ませる必要もなく聞こえてきたのは2年生児童の「九九」でした。すべて覚えて担任から合格をもらった子どもたちが、教頭先生のところに検定風に挑戦していたのでした。校長室にも訪問者がありました。「私の好きなこと、伝えにきました。」きっと家に帰っても、子どもたちは自分の「好き」「楽しい」を話していると思います。伝えたいと思っています。なぜなら、一番話を聴いて欲しい相手は家族だから。家族団欒の時間は和顔愛語でいきましょう。それでは皆様、良い年をお迎え下さい。



◆次号は1月26日頃発行予定。仕事始めは1月4日 新年のご挨拶はHPにて。

【学校HPのOQコード】